
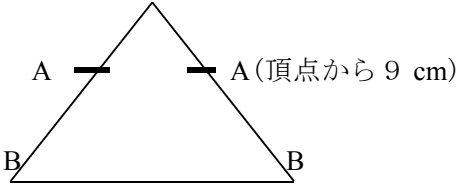


短時間でできる被服教材（ テッシュBOXカバー ）

<p>☆小学校・中学校の振り返りポイント</p> <p>なみ縫い，返し縫い，まつり縫い，ボタン付けの技術を確認する （ミシンが使用できる場合はミシン直線縫いの復習もできる）</p>	
<p>☆時間のめやす 2時間</p>	
<p>☆指導の工夫</p> <p>1時間目は，なみ縫いまでで一度提出させ，チェックしてから， 2時間目に表に返し，まつり縫いとボタン付けに進む。 ミシンが使用できる場合は，角を含めた2辺を縫わせる。</p>	
<p>☆作品の写真</p> 	
<p>☆方法・内容</p> <p>① 36cmの正方形の布を，中表に合わせて，端から1cmのところをなみ縫いする （返し口は縫わない）</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;">返し口 (ウラ)</p> </div> <div> <p>※ミシンが使用できる場合は，ミシンの台数の人数が 先にミシン縫いから始め，後の生徒は手縫いの なみ縫いから始める。適宜交代しながら進める。 （ミシンは角を含めた直角2辺を縫わせる）</p> </div> </div> <p>②表に返して，返し口をまつり縫いする。</p> <p>③Aの位置を3回ぐらいかがり縫いし，Bにボタンを付ける。</p>  <p>④かがり止めたAにBのボタンを引っかけて，できあがり。</p>	
<p>応 用 編</p>	<p>☆とても簡単ですが，実用性があります。</p> <p>☆なみ縫いの距離が長いので練習になります。</p> <p>☆110幅の3分の1幅でちょうど良いサイズです。</p>

